

自分さがし



参観・学級懇談会 ありがとうございました

10日(土)参観授業として1年生は健康教育「いのちの教室」を行いました。マナ助産院の助産師さんに来ていただき、スライドやビデオを使いやさしい語り口で命の尊さをお話していただきました。たくさんの保護者の方も参加していただき、終わったあと感激して助産師さんにお礼を言いにくてくださる方もいらっしゃったほどです。

みんなは保健の授業で勉強した部分もあったかと思いますが改めて「命」や「家族」「性」について考えるいい機会になったようです。今日の道德の授業も含め、今生きていることに感謝し自分も他人も大事にできる人になってください。そして、家族に感謝のことが伝えられるといいですね。

また、学級懇談会でもなごやかな雰囲気の中、話ができたようです。このような機会だけでなく、何か不安なことや困っていることなどありましたら、気兼ねなく担任や学年に相談してください。

では感想を紹介します。

●1 組

今日講演会を聞いて命の大切さや出産の苦勞、そして助産院の方の大変さがとてもわかりました。

ビデオや話を聞いているうちに自分達がこうして産まれたんだ、と感じました。赤ちゃんを産むのはお母さんが長い年月をかけていろいろな苦難にも負けず一心不乱に赤ちゃんを産もうするビデオを見てぼくたちがここにるのが奇跡のように思えてきました。それを見て本当にすごいと思ったのが助産院の方です。何事にも冷静で家族の人に心配をかけないようにしっかりとサポートしていてその冷静な判断力といかなる状況にも対応して出産を支えていることがすごいと思いました。

講演会を聞いてぼくは「人」に対する見方が変わりました。お母さんが苦しんで一生懸命にぼくを産んでくれたことに改めてお礼が言いたいです。

●2 組

私は、いのちの教室の授業を受けて私は妹や弟がいないので出産というのを初めて見ました。

母や他の人にも色々な性格があるように出産の仕方、育て方にはたくさん方法があることがわかりました。出産は母も子も同じように努力しつづけてできた奇跡の結果だと思いました。そして、性について保健でも少し学習しましたが、それよりも深く学ぶことができました。人が誕生する確率がものすごく低く奇跡でしかないと思いました。

助産師さんが今私たちにできることややらなければならないことを教えてくださいました。それにくわえて命の大切さも教えてくださいました。「人は一人では生きられない。」とおっしゃっていたことにとても共感しました。

1年2組でも体育大会、文化祭で1位をとれたことは一人ではできないし、体育大会、文化祭を成功させるには1年生いや全校生の力がなければできていなかったと思うので強く共感しました。

今回の授業で人の大切さ、未来について今できること、様々なことを学びました。貴重な体験をありがとうございました。

●3 組

私は今回の「いのちの教室」の授業を受けて改めて「いのち」の大切さを実感しました。自分が今ここにいることはいろんな人に支えてもらい、たくさんの奇跡が重なっていると思います。私が今こうやってご飯を食べていることやお菓子やアイスを食べていることは「あたりまえ」ではありません。

世界のどこかではそうではない所もあります。今、過ごしている時間、そして支えてくれている人たちに感謝しなければならないと思います。

今回の授業を通して「人は一人では生きられない、最初から最後まで誰かに支えてもらっている」ということを感じました。このことをたくさんの人にわかってもらいたいです。

